

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和07年01月27日

計画の名称	宮崎県におけるハード・ソフトが一体となった総合的な土砂災害対策の推進（防災・安全）【重点】（3期）													
計画の期間	令和07年度～令和11年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	宮崎県													
計画の目標	近年における集中豪雨の多発化に伴う人的被害の増大や、高齢化の進展に伴う要配慮者の増加に対応するため、ハード・ソフトが一体となった総合的な土砂災害対策を推進し、安心安全な県民生活の確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,636	A	1,636	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初	R9末	R11末
1	砂防施設整備等により、土砂災害から保全される重要交通網数を、0箇所（R7当初）から3箇所（R11末時点の保全完了）に増加。			
	砂防施設整備等により、土砂災害から保全される重要交通網数	0箇所	3箇所	3箇所
2	砂防施設整備等により、土砂災害から保全される市町村役場・支所数を、0施設（R7当初）から2施設（R11末時点の保全完了）に増加。			
	砂防施設整備等により、土砂災害から保全される市町村役場・支所数	0施設	1施設	2施設
3	砂防施設整備等により、土砂災害から保全される人家戸数を、1,063戸（R7当初）から1,096戸（R11末時点の保全完了）に増加。			
	砂防施設整備等により、土砂災害から保全される人家戸数	1063戸	1096戸	1096戸

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
砂防事業	A04-001	砂防	一般	宮崎県	直接	宮崎県	通常砂防	-	中田谷川 1	堰堤 1 基 ほか	美郷町	■	■				367	27.02	-
	A04-002	砂防	一般	宮崎県	直接	宮崎県	通常砂防	-	山下谷沢	堰堤 1 基 ほか	延岡市	■	■				394	2.93	-
	A04-003	砂防	一般	宮崎県	直接	宮崎県	通常砂防	-	元郵便谷川	堰堤 1 基 ほか	延岡市	■	■	■			255	1.17	-
	A04-004	砂防	一般	宮崎県	直接	宮崎県	通常砂防	-	池畑谷川	堰堤 1 基 ほか	串間市	■	■	■	■	■	320	1.77	-
										小計						1,336			
その他総合的な治水事業	A08-005	総合治水	一般	宮崎県	直接	宮崎県	砂防等	-	土砂洪水氾濫対策のための計画策定又は変更	土砂洪水氾濫対策のための計画策定又は変更	管内一円	■	■				300	-	-
											小計						300		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						1,636		

事前評価チェックシート

計画の名称： 宮崎県におけるハード・ソフトが一体となった総合的な土砂災害対策の推進（防災・安全）【重点】（3期）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・目標がわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が発揮される。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他事業（ソフト）との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性	
III. 計画の実現可能性 1) 土砂災害による被害を防止・軽減できる計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 被害想定区域等において、多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○